実績評価書様式

(厚生労働省29(Ⅱ-2-1))

								•))		
施策目標名	安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること(施策目標 II -2-1)										
	「安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること」という施策目標を達成するため、以下の施策を実施する。 ・すべての水道事業者が自らの事業の現状と将来見通しを分析・評価した上で作成する事業計画(「水道事業ビジョン」)の策定を										
施策の概要	支援する ・最新の知見に基づき水道水質基準等の見直しを逐次行うことにより、水質基準に適合した安全な水の供給を推・水道事業者等における耐震化計画策定を促進するとともに、基幹管路等の耐震化を推進する ・事業統合や経営の一体化により施設や経営の効率化・基盤強化を図る広域連携を推進する。							進する			
施策の背景・枠組み (根拠法令、政府決定、 関連計画等)	水道は国民の生活に不可欠であり、安全な水を安定して供給することが必要である。 我が国の水道は97.9%の普及率を達成しているものの、現在以下のような課題に直面している。 ・水道施設の老朽化の進行(高度経済成長期に整備された施設が老朽化し、耐用年数を超えた水道管路の割合が年々上昇している(H28年度14.8%)) ・耐震化の遅れ(水道管路の耐震適合率は4割に満たず耐震化が進んでいないため、大規模災害時には断水が長期化するリスクを抱えている)								るリス 員数も -ビスを 更新の		
	担にジョン	(厚生労働省健康局								IS 4.7	
		区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度		31年度要	求額	
		当初予算(a)	14,724,343	19,697,972	23,830,834	25,983,410	30,105,532		73,801,4	124	
+	予算の 状況	補正予算(b)	25,000,000	27,571,000	44,687,000	28,516,000	0				
施策の予算額・執行額等	(千円)	繰越し等(c)	17,790,000	4,104,406	-10,767,868	5,985,206	0				
		合計(a+b+c)	57,514,343	51,373,378	57,749,966	60,484,616	30,105,532				
	執行	万額(千円、d)	53,303,307	50,633,424	53,600,082	55,109,045					
	執行率((%, d/(a+b+c))	92.7%	98.6%	92.8%	91.1%					
関連税制					_						
		拖政方針演説等の名 オ政再生計画 改革エ									
16 66 1 00 1 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0											
要政策(施政方針演説、	改定版 2)国土強	靱化アクションプラン		経済財政諮 定 2)平成29年 土強靱化推 定		2)水道施設り、水道事業に、老朽化だする(KPI:上)	美者等におけ が進み耐震	ける耐震化計 性のない基準	†画策定を 幹管路等 <i>0</i>	促進する D耐震化	らととも
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の	2)国土強 水道事業 (水道課訓 事業者数(指標1 ぎビジョン策定状況 調べ。全国の上水道 こ対する水道事業ビ	2017 新水道ビジ 高順により事業 事業の現状	定 2) 平成29年 土強 化推定 指標(コンに道を性性に対象を性がまた。 また おいま はいれ また と 将来 見通し	6月6日国 進本部決 の選定理由 全、に継を 世持続性を終 しを分析・評	り、水道事業に、老朽化な	者等におければの基幹 水道の基幹 水準・目標 ままた広域化 またに示すた 水道事業ビ	ける耐震化計 性のない基準 管路の耐震 (主)の設定 (注)のででででである。 (注)のででででである。 (注)のでででできる。 (注)のででできる。 (注)のででできる。 (注)ので。 (注)ので。 (注)。 (注)ので。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)	十画策等の 幹管路率 50 この根拠 一ズ りので視道事と ですること	促進する D耐震化 DM[H34]) に対れた引 に入れた引 業者等が	るととも を推進
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国土強・水道課数に事業に対して、	指標1 性受ション策定状況 調べ。全国の上水道 こ対する水道事業ビ 済み上水道事業者 (H20年度分より実	2017 新水道ビジ 高順により事業 事業の現状	定 2) 平成29年 土強 化推定 指標(コンに道を性性に対象を性がまた。 また おいま はいれ また と 将来 見通し	6月6日国 進本部決 の選定理由 全、に継を 世持続性を終 しを分析・評	り、水道事業に、老朽化力で、 する(KPI:上)を を ないるでは を がいくため、 合水区域の付 でした上で「	者等におければの基幹 水道の基幹 水準・目標 ままた広域化 またに示すた 水道事業ビ	ける耐震化計 性のない基準 管路の耐震 (主)の設定 (注)のででででである。 (注)のででででである。 (注)のでででできる。 (注)のででできる。 (注)のででできる。 (注)ので。 (注)ので。 (注)。 (注)ので。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)	十画策等の 幹管路率 50 この根拠 一ズ りので視道事と ですること	促進する D耐震化 DM[H34]) に対れた引 に入れた引 業者等が	るととも を推進
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国土強・水道課数に事業に対して、	指標1 ぎビジョン策定状況 調べ。全国の上水道 こ対する水道事業ビ ご済み上水道事業者	2017 新水道ビジ 高画により事業 とから指標。	定 2) 平成29年 土強 化推定 指標(コンに道を性性に対象を性がまた。 また おいま はいれ また と 将来 見通し	6月6日国 進本部決 の選定理由 全、に継を 世持続性を終 しを分析・評	り、水道事業に、老朽化力では、老板に、をでは、 する(KPI:上)を を取り、ため、 を取り、ため、 はででは、 はででででした。 はに100%とする。	者等におければの基幹 水道の基幹 水準・目標 ままた広域化 またに示すた 水道事業ビ	ける耐震化計 性のない基準 管路の耐震 (主)の設定 (注)のででででである。 (注)のででででである。 (注)のでででできる。 (注)のででできる。 (注)のででできる。 (注)ので。 (注)ので。 (注)。 (注)ので。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)。 (注)	十 神 神 神 神 神 神 神 神 神 の の の の の の の の の の で れ の の で れ の の に の の に に 。 に の に に 。 に に に に に に に に に に に に に	促進する D耐震(H34]) (H34]) 対れた3 (大者重要で	とと推進 た業らあるこ
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国土強・水道主教(事業)数の割合	指標1	2017 新水道ビの が高により 事業から指標の 基準値	定 2) 平成29年 大学 (1) では、	の選定 ・全代続 ・会 ・会 ・会 ・会 ・会 ・会 ・会 ・会 ・会 ・会 ・会 ・会 ・会	り、水道事業に、 水道事業に、 などは、 を数というでは、 を数いくたのは、 はいたができる。 はいいたのは、 はいいたができる。 はいいできる。 はいできる。	を者等におければの基幹 水道の基幹 水道の基幹 来課題を解れまたに示すた。 またにま業に 水道ことを目	を は で は で で で で で で で で で で で で で で で で	中幹適でののではでののではでののではではでき	促進する D耐震(H34]) (H34]) 対れた3 (大者重要で	とと推進 た業らあるこ
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国土強・水道主教(事業)数の割合	指標1 性受ション策定状況 調べ。全国の上水道 こ対する水道事業ビ 済み上水道事業者 (H20年度分より実	2017 新信画 第 が が が が り 現 標 り り 現 標 を り ま の 指 標 に り り ま の も り も り も も も も も も も も も も も も も も も	定 2) 平成29年 土定 指標(コン水安来選 に道定性を として 25年 55.1% 64.3%	では では では では では では では では では では	り、水道事業 に、る(KPI:上) び 目標値(女 数いくたのは といくたのでに 実績値 27年度 68.5% 78.6%	者等におけれる 水道の基幹 水道の基幹 水道の基幹 水道の基幹 水道に要した。 来ではまた。 大道であることを目が を域れた。 ではまた。 では、 ではまた。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	する耐震化計 性のなの耐 性のなの耐 度 度 し、官 す。ショ値 と と り の 需 民 べ い う い う に う で り で り し で り り し っ し っ し っ し し て り し て り た り し て り た り し て り り り り り り り り り り り り り り り り り	中幹適E6のののを水すにののを水すし標年ないませんは一野当これ値度100%100%	促進する D耐震(H34]) (H34]) 対れた3 (大者重要で	た た 業 う ま 。 成 は に ま に ま に ま に ま に は に に ま に に に に に に に に に に に に に
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国土強・水道主教(事業)数の割合	指標1 ミビジョン策定状況 調べ。全国の上水道 こ対する水道事業ビ 済み上水道事業者・ (H20年度分より実 施))	2017 新水質に が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	定 2) 平成29年	で で で で で で で で で で で で で で	り、水老柄(KPI:上: 及び目標値(女部いくたのでに をいたのででで まに100%とす を100%をす を100	*者等におければの基幹 水道の基幹 水道の基幹 水道の基幹 ・目標・ ・ 課題に示業に下ることを目 ・ 28年度 ・ 71.7% ・ 85.7% 水準・目標・ ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7%	中 を	十 中 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神	促進する の耐震(H34]) に入者重 応入者事要で 主要な指標	ると た 業 は ま ま ま ま 。 。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国土強・水道書課 (水水業) (本学) (本学) (本学) (本学) (本学) (本学) (本学) (本学	指標1	2017 新信画事と が が が が が が が が が が が り 現 標 の り り り り り は り り は り り は り り は し り り し し し し	定 2) 平数 指 ボンパの将 にが安来選 年 100 110 110 110 110 110 110	で で で で で で で で で で で で で で	り、水道事業 に、る(KPI:上) び 目標値(女 数いくたのは といくたのでに 実績値 27年度 68.5% 78.6%	*者等におければの基幹 水道の基幹 水道の基幹 水道の基幹 ・目標・ ・ 課題に示業に下ることを目 ・ 28年度 ・ 71.7% ・ 85.7% 水準・目標・ ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7%	中 を	十 中 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神	促進する の耐震(H34]) に入者重 応入者事要で 主要な指標	ると た 業 は ま ま ま 。 。 成 本 業 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国土強・ 水水業シ数 年 水道・ 水が (下) 水が (下) 水道・ 水道・ 水道・ 水道・ 水道・ 水道・ 水流・ 大き (下) 水流・ 大き (下) かん (下)	指標1 ミビジョン策定状況 調べ。全国の上水道 ご対する水道事業者 (H20年度分より) ごとの目標値 指標2 指標2 質基準適合率 計」(公益社団法人	2017	定 2) 平成29年	で で で で で で で で で で で で で で	り、水老(KPI:上: 及び 製い区に上: を	*者等におければの基幹 水道の基幹 水道の基幹 水道の基幹 ・目標・ ・ 課題に示業に下ることを目 ・ 28年度 ・ 71.7% ・ 85.7% 水準・目標・ ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7%	中 を	計算では </td <td>促進 の に 大者 主要な指標 本等 本等 で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で たった たった たった たった たった たった たった</td> <td>らと</td>	促進 の に 大者 主要な指標 本等 本等 で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で たった たった たった たった たった たった たった	らと
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国土強・ 水水業シ数 年 水道・ 水が (下) 水が (下) 水道・ 水道・ 水道・ 水道・ 水道・ 水道・ 水流・ 大き (下) 水流・ 大き (下) かん (下)	指標1 ミビジョン策定状況 調べ。全国の上水道 ご対する水道事業者 (H20年度分より) ごとの目標値 指標2 電基準公益社で 指標2 電子では がある。 では には には には には には には には には には には には には には	2017 新信画事と	定 2) 年 20 年	の選集を評価を担ける。 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	り、、 な (KPI:上: 及 (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: な (KPI:上: (KPI:上: (KPI:上: (KPI:上: (KPI:上: (KPI:上: (KPI:L:) (KPI:L: (KPI:L:) (KPI:L: (KP	* 大学 における おける おける おける では は できる	を を を を を を を で を で を で で で で で で で で で で で で で	中幹適では<	促進する の耐震(H34]) に入者重 応入者事要で 主要な指標	らと た 業自あ 達 x い で が が が が が が が が が が が が が
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国土強・ 水水業シ数 年 水道・ 水が (下) 水が (下) 水道・ 水道・ 水道・ 水道・ 水道・ 水道・ 水流・ 大き (下) 水流・ 大き (下) かん (下)	指標1 ミビジョン策定状況 調べ。全国の上水道 ご対する水道事業者 (H20年度分より) ごとの目標値 指標2 指標2 質基準適合率 計」(公益社団法人	2017	定 2) 平数 指 ボンパの将 にが安来選 年 100 110 110 110 110 110 110	で で で で で で で で で で で で で で	り、水老(KPI:上: 及び 製い区に上: を	*者等におければの基幹 水道の基幹 水道の基幹 水道の基幹 ・目標・ ・ 課題に示業に下ることを目 ・ 28年度 ・ 71.7% ・ 85.7% 水準・目標・ ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7% ・ 1.7%	中 を	計算では </td <td>促進 の に 大者 主要な指標 本等 本等 で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で たった たった たった たった たった たった たった</td> <td>らと</td>	促進 の に 大者 主要な指標 本等 本等 で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で 大き で たった たった たった たった たった たった たった	らと
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国水水業ョン数(「日本)大水業ョの水本事課数策割年水統道水統道	指標1 ミビジョン策定状況 調べ。全国の上水道 ご対する水道事業者 (H20年度分より) ごとの目標値 指標2 電基準公益社で 指標2 電子では がある。 では には には には には には には には には には には には には には	2017 新信画事と 基 20 水頼に業か 基 20 道性よの指 値 度 30% にあ 値 度 16年	定 2) 平 2) 平 2) 中 2) 中 2) 中 2) に水の将て 25 に 30 に水の将て 25 に 40 に	26月6部 選 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会	りにす 及 敏し合価度 で 取で 取い区 大のでと を は のでと を のでと を のでと を のでと を のでと を のでと を のでと を のでと を のでと を のでと を のでと を のでと のでと のでと のでと のでと のでと のでと のでと	* ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	年 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	中幹適では、	促 (に (に (に (に (に (は (は (は (は (は (は (は (は (は (は	た ま と 推 ま よ ま よ ま よ は ま よ は ま よ は ま よ は は は は は は は は は は は は は
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)国水水業ョン数(「日本)大水業ョの水本事課数策割年水統道水統道	指標1 だジョン策定状況 調べ。全国の上水道 ご対する水道事業者 (H20年度分より) ごとの目標値 指標2 香基準公の数値をもと はは会)の数値をもと に集計)	2017 新信画事と 基 20 水頼に業か 基 20 道性よの指 値 度 30% にあ 値 度 16年	定 2) 2) 2) 21 21 21 21 22 23 24 25 30 40 40 40 40 40 40 40 4	で で で で で で で で で で で で で で	りにする 及 敏し合価度 が 靱で水しに び 靱で水しに 実 78.6% で 27年 68.5% 78.6% 及 した 変 4年を 1年を 1年を 1年を 1年を 1年を 1年を 1年を 1	本 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	年 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	中幹適では<	促 (に (に (に (に (に (は (は (は (は (は (は (は (は (は (は	た ま と は た 業 自 あ 達 、 で 成 成 の で 成 の で 成 の の に が に に が に が に が に が に が に に が に に に に に に に に に に に に に
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)水水業ョ数(「日上水水業ョの水本事課数策割年水道水事課数策割年水統道度質統道	指標1 標1 標2 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	2017新信画事と水要本報に業か基 20水頼に業か基 20道で 基 6幹す、「標度どのり現様値 度 30%にる 値 度 99.90%路こ指とのと標さを	定21125434平強に水の将て2555.1%64.3%111 </td <td>(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7</td> <td>りにする(KPI:上: 及</td> <td>水水来まま水ままま<t< td=""><td>年 決しいが標 を</td><td>十幹適 で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td>促</td><td>らを た</td></t<></td>	(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	りにする(KPI:上: 及	水水来まま水ままま <t< td=""><td>年 決しいが標 を</td><td>十幹適 で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td>促</td><td>らを た</td></t<>	年 決しいが標 を	十幹適 で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	促	らを た
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)水水業ョ数(「日上水水業ョの水本事課数策割年水道水事課数策割年水統道度質統道	指導のでは、 指が、では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	2017新信画事と水要本報に業か基 20水頼に業か基 20道で 基 6幹す、「標度どのり現様値 度 30%にる 値 度 99.90%路こ指とのと標さを	定21125434平強に水の将て2555.1%64.3%111 </td <td>(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7</td> <td>りにす 及 針し合価を 及 う び 靱で水しに 実 2 7 88.6% 目 とい区たのでと 値 度 3 78.6% 暦 かたのでと 値 度 3 100% で 3 100% で</td> <td>水水来まま水ままま<t< td=""><td>年 決しいが標 を</td><td>十幹適 で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td>促</td><td>らを た</td></t<></td>	(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	りにす 及 針し合価を 及 う び 靱で水しに 実 2 7 88.6% 目 とい区たのでと 値 度 3 78.6% 暦 かたのでと 値 度 3 100% で	水水来まま水ままま <t< td=""><td>年 決しいが標 を</td><td>十幹適 で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</td><td>促</td><td>らを た</td></t<>	年 決しいが標 を	十幹適 で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	促	らを た
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)水水業ョ数(「日上水水業ョの水本事課数策割年水道水事課数策割年水統道度質統道	指導のでは、 指が、では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	2017新信画事と水要本報に業か基 20水頼に業か基 20道で 基 6幹す、「標度どのり現様値 度 30%にる 値 度 99.90%路こ指とのと標さを	定21125434平強に水の将て2555.1%64.3%111 </td <td>(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7</td> <td>りにす 及 強し合価度 実 2 7 8.6%</td> <td>水水来まま水ままま<t< td=""><td>年 決しいが標 を</td><td>十幹適 で</td><td>促 に 入業が 主 者 主 状標 4 目積 と は で は で は で は で で で で で で で で で で で で</td><td>らを た業自あ 達 × で 達 〇 前設50平に と推 計のこ 成 × で 成 〇 に定%成修 も進 計のこ 成 × 必 成) 把しが34</td></t<></td>	(2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	りにす 及 強し合価度 実 2 7 8.6%	水水来まま水ままま <t< td=""><td>年 決しいが標 を</td><td>十幹適 で</td><td>促 に 入業が 主 者 主 状標 4 目積 と は で は で は で は で で で で で で で で で で で で</td><td>らを た業自あ 達 × で 達 〇 前設50平に と推 計のこ 成 × で 成 〇 に定%成修 も進 計のこ 成 × 必 成) 把しが34</td></t<>	年 決しいが標 を	十幹適 で	促 に 入業が 主 者 主 状標 4 目積 と は で は で は で は で で で で で で で で で で で で	らを た業自あ 達 × で 達 〇 前設50平に と推 計のこ 成 × で 成 〇 に定%成修 も進 計のこ 成 × 必 成) 把しが34
政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)水水業ョ数(「日上水水業ョの水本事課数策割年水道水事課数策割年水統道度質統道	指導のでは、 指が、では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	2017新信画事と上のり現標水頼に業か 基 20道で 基 16幹す 【標度さいた」ど高事状標にる 値 度 99.90%路こ指と0%とあるとはできるとあるとはできる。	定2112543344	15 16 16 16 16 16 16 16	りにす 及 強し合価長 実 スペート で 靱で水しに 実 2 68.5% 目 とい区た00 績 年 5.5% 目 いく域上% 値 度 27 99.10 標 業で3のが修 値 度 9.00% (水水ままれる2水ままれるきが水水ままにするままたに事と本ままたであるままれるままたであるままたであるままたである本またであるに耐基はまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたであるまたであるまたであるまたがよりまたがよりまたであるまたであるまたがより <td>大きな年 決さが標年 決さが標年 次さが標年 水さが標るの路度 しやめ 3値2 集度 道%とことで まままままままままままままままままままままままままままままままままままま</td> <td>中幹適であります。では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で</td> <td>促 に 入業が 主 者 主 状標 4 目積 と は で は で は で は で で で で で で で で で で で で</td> <td>らを た業自あ 達 い 達 () 的設の平にと推 計らる 成 × の 成 の に定%成にも進 計のこ 成 × 必 成) 把しが34</td>	大きな年 決さが標年 決さが標年 次さが標年 水さが標るの路度 しやめ 3値2 集度 道%とことで まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	中幹適であります。では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	促 に 入業が 主 者 主 状標 4 目積 と は で は で は で は で で で で で で で で で で で で	らを た業自あ 達 い 達 () 的設の平にと推 計らる 成 × の 成 の に定%成にも進 計のこ 成 × 必 成) 把しが34
要政策(施政方針演説、 政府決定、関連計画等の うち主なもの)	2)水水業ョ数(「日(「日国水水業ョの水本基水本事課数策割年水道水年幹道水事課数定合度管統道	指導のでは、 指が、では、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	2017新信画事と水要基据た目年正水頼に業か基 20道で 基 16幹す、標度さいである本値にない。ど高事状標にる 値 度 99.90%路こ指とのためのと標さをめると、	定21125344	26 1 1 1 1 1 1 1 1 1	りにす 及 針し合価度 実 7 またが いいで	水水来まま <t< td=""><td>年 決とめ まで まで</td><td>中幹適できる111212222</td></t<> <td>促</td> <td>Se たい</td>	年 決とめ まで	中幹適できる111212222	促	Se たい

(*)都県でほぼ一元的に水道事業を実施している東京都・香川県を除く45道府県を目標値としてい 等を設置した都道府県数 る) 実績値 基準値 目標値 |主要な指標| 達成 27年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 \circ 0 45(*) 20 22 26 39 年度ごとの目標値 38 実績値 【参考】指標5 広域連携に取り組むこととした 27年度 29年度 25年度 26年度 28年度 市町村数 集計中 174 目標達成度合いの測定結果 |(各行政機関共通区分)③【相当程度進展あり】 (判定結果)B【達成に向けて進展あり】 総合判定 (判定理由) 指標①についてはここ数年実績値が伸び悩んでいるものの、主要な指標である指標②③④につ いては実績値が着実に向上し概ね目標を達成している。 (有効性の評価) ○ 指標1については、H29年度実績値が約73%となっており、着実に向上しているが、目標値に は達していない。給水人口5万人を超える水道事業者では策定率が90%を超えている一方、給水 人口5万人以下の中小規模の事業者では、水道事業ビジョン策定のための検討体制やノウハウが 十分でないところもあり、策定率が64%と低い状況である。今後、特に中小規模の事業者の水道 事業ビジョン策定に有効に機能するよう取り組む必要がある。 ○ 指標2については、最新の科学的知見に基づき水質基準の逐次改正を行うとともに、その見直 しを反映させて算出している水質基準適合率が直近3ヶ年においても99.9%を超えており、安全で質 の高い水道水の確保を目的とする本施策が有効に機能していると評価できる。なお、本指標は全 国の水道事業者が定期的に実施している水質検査結果の基準適合率を取りまとめたものである (平成27年度は302,079地点を調査し、60地点で超過)。平成27年度は、水道水源における油流出 事故等により一時的に水質基準を超過した事例が60地点あったが、これらは、水道事業者が浄水 処理の強化等の措置により水質基準に適合する措置を取ったことから、目標を達成したと見なすこ とができる。 ○ 指標3については、毎年着実に向上しているが、年度ごとの目標値には1%程度達していない。 南海トラフ地震等の切迫する災害に備えるため、早期に耐震性を向上させる必要がある。 ○ 指標4については、安全で持続的な水の供給を確保するための手段の一つとして広域連携を 推進する必要があり、それに向けた協議会等の設置数が着実に向上していることから、本施策が 有効に機能していると評価できる (効率性の評価) ○ 指標1について、水道事業ビジョン作成の手引きや水道事業におけるアセットマネジメント(資 産管理)に関する手引きの提供等により、水道事業者が効率的に水道事業ビジョンを作成し健全 |な事業経営を実施できるよう支援している。H29年度実績値が約73%となっており、着実に向上し ているが、目標値には達していないため、引き続き、手引きを各種会議で情報提供するなど水道 事業ビジョン策定を促す。 ○ 指標2については、最新の科学的基準に基づき水質基準を逐次見直すこととしており、効率的 施策の分析 に水の安全性を確保するように努めている。結果的に高い水質基準適合率を維持できていること |からも、効率的な取組が実施されていると評価できる。 ○ 指標3については、28年度実績値が目標より1%程度低い状況ではあるが、耐震化により高い |効果が得られる基幹管路について優先的な整備が進むよう、費用・技術の両面から支援策を講じ ている。また、平成29年5月には「重要給水施設管路の耐震化計画策定の手引き」を策定し、重要 給水施設に供給する管路から、優先的な耐震化を図るよう水道事業者等に求めるなど、効率的な 耐震化を推進している。 ○ 指標4については、総務省とも連携し、平成28年3月に「水道事業の広域連携の推進につい 評価結果と今後の方向性 て」という通知を発出しており、これにより都道府県において広域化検討に向けた協議会の設置が 効率的に進んだと考えている。 (現状分析) ○ 指標1については、着実に向上が認められるものの、中小規模事業者で策定率が低い状況に |あり、年度目標には達していない。今後、地域ブロックごとに平成25年度から毎年開催している「水 |道の基盤強化のための地域懇談会」を活用し、「水道事業ビジョン作成の手引き」の周知や、水道 事業ビジョン策定の参考となる優良事例の紹介を行うとともに、平成30年度からは「生活基盤施設 耐震化等交付金」による支援策の充実による広域連携の検討支援等により、中小規模の事業者 の水道事業ビジョン策定を促す必要がある。 ○ 指標2については、毎年概ね目標値を達成しており、安全で質の高い水道水の確保ができて |いると考えられ、引き続き、安全性を一層高める水質管理を推進していく必要がある。 ○ 指標3について、は年度目標を1%程度下回っているものの着実に向上している。管路の更新 率は事業者によって大きくばらつきがあるため、管路更新の底上げを図るため、アセットマネジメン トの取組等の促進する必要がある。 ○ 指標4については、着実に向上しているが、引き続き未設置の都道府県に対して広域連携の |推進のための協議会等を設置するように機会を捉えて促していく必要がある。

指標4

広域化検討に向けた協議会

水道事業の基盤強化を図るためには、職員確保や経営面でのスケールメリットの創出につながる 広域連携が有効であり、都道府県はその推進役としての役割が期待されることから、広域化検討

に向けた協議会等を設置した都道府県数を指標として選定した。

次期目標等へ反映の方向性	
--------------	--

学識経験を有する者の知 見の活用	標1につい 1の指標選 め」という理	て、中小規模 定理由欄に	莫の水道 「広域化 「るととも」	事業者にま や官民連携	で水道ビジ	ョンの策定と、れた事業計	いう負担を	或30年7月3 求める合理性 業の安定性・ より生活基盤	生があるのか や持続性を終	nというご‡ 給水地域 <i>0</i>	指摘を受り 住民に表	ナ、指標 示すた
参考·関連資料等	O関連事業 URL: httl O地域水道 URL:httl O水道事業	tp://www.m まの行政事賞 tp://www.m 道ビジョン策! p://www.mh まにおける耐	集レビュー hlw.go.jp/ 定状況 nlw.go.jp/s 才震化のお	-シート /jigyo_shiwa stf/seisaku 犬況	ake/	nya/topics/l		nou/index.hti nkou/suido/t		.html		

担当部局名 医薬・生活衛生局	作成責任者名	水道課長 是澤 裕二	政策評価実施時期	平成30年6月
----------------	--------	---------------	----------	---------